

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/02/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## イスラエル=ハマスの停戦協議決裂で反発

NY原油先物相場は、1バレル=71.41ドルまで下落した後、76ドル台後半まで切り返す展開になった。引き続き中東情勢のリスク評価が中心の地合になっているが、イスラエルとハマスの停戦合意への期待感が剥落したことが、改めて原油相場を押し上げている。中東情勢の先行き不透明感から期近限月主導の上昇になった。

イスラエルとハマスの間では、カタールの仲介で停戦協議が行われていた。イスラエルと米国、エジプト、カタールが停戦案を取りまとめ、それに対してハマスの三段階の停戦案を6日に回答していた。しかし、イスラエルのネタニエフ首相は7日にハマスの停戦案を拒否し、「完全かつ最終的な勝利以外に解決策はない」と、今後もハマスに対する攻撃を続ける方針を確認している。停戦合意の可能性が浮上すると原油相場は高値79.29ドルから急反落していたが、当面の停戦合意は困難との見方が改めて原油相場を押し上げている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (2月2日時点) は、原油が前週比552万バレル増、ガソリンが315万バレル減、石油精製品が322万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 地政学リスクの織り込み再開、中東情勢に一喜一憂する展開

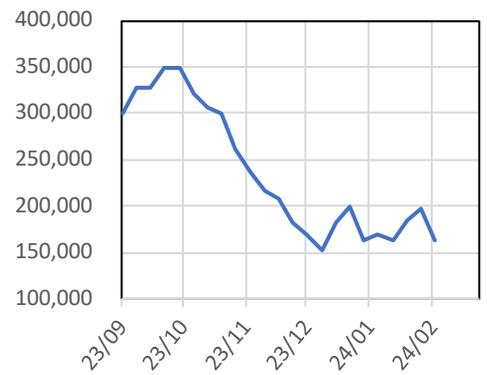
中東の地政学リスクが再燃する中、上振れリスクが高まる。原油需給よりも地政学リスクが重視されている以上、中東情勢に関する日々のヘッドラインに一喜一憂する展開になる。イスラエルとハマスの停戦協議が決裂し、イスラエルがガザ地区への攻撃を改めて強化する展開が維持されると、原油相場も期近限月主導で強含みの展開になる。直近高値79.29ドル、80ドルの節目まで視界に入る状況にある。

ただし、原油供給障害や需給ひっ迫が発生している訳ではなく、80ドル水準だと過熱感が強い。現時点では、イエメン武装組織フーシ派の活動によって紅海周辺の原油流通に混乱が生じている。一方で、それが各国で原油需給のひっ迫化、供給不足を引き起こしている訳ではない。専ら地政学リスクの織り込みで上昇しているため、改めて緊張緩和を意識させるような動きがみられると、利食い売りで70ドル前半まで反落する可能性を抱えた不安定な地合が続こう。

2月13日に石油輸出国機構（OPEC）、15日に国際エネルギー機関（IEA）が月報を発表する。需要見通しに大きな修正が行われると、売買が活発化する可能性があるため、イベントリスクとして注意が必要。また、前週は米石油製品在庫の減少を手掛りとした買い圧力がみられたため、14日発表の統計で石油製品在庫が更に取り崩されると、買いが膨らむ可能性がある。

一方、13日には1月米消費者物価指数が発表される。ここでインフレ率の低下傾向が確認されると、改めて米金利低下・ドル安圧力がドル建て原油相場を押し上げる可能性がある。逆に想定外に強い数値が出てくると、米金利上昇・ドル高が利食い売りを誘う可能性が高まる。

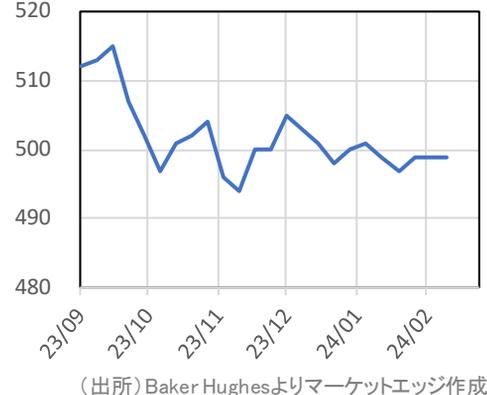
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

